

記録映画

さ か あ み り よ う

坂網為胤

—人と自然の付き合い方を考える—

日時 2018年7月12日(木) 19:00~

会場 大竹財団会議室

東京都中央区京橋1-1-5センドラルビル11F

参加費 一般=500円/学生、大竹財団会員=無料

定員30名【要予約】

ゲスト 今井友樹さん(『坂網為胤』監督)

澤幡正範さん(『坂網為胤』カメラマン)

主催 一般財団法人大竹財団 03-3272-3900
<http://ohdake-foundation.org>



2018年/42分/日本/ドキュメンタリー

監督 今井友樹 制作 鈴木正義 撮影 澤幡正範 伊東尚輝

音楽 国広和毅 整音 株式会社アクエリアム ナレーター 柴田暦

制作 株式会社工房ギャレット 企画・製作 加賀市文化財総合活用事業実行委員会

加賀市片野鴨池坂網為胤保存会

Web予約
PC・モバイル共通



<https://goo.gl/4Dx1Ur>

坂網猟師に魅了される

片野鴨池(石川県加賀市)で伝承される坂網猟は、藩政期から続く伝統猟法であり、池周辺を低く飛び越えるカモを捕獲する。空を自由に飛ぶ野生のカモをいったいどうやって捕まえるのか。なぜ坂網猟が300年以上も前から片野鴨池で伝承されているのか。伝統を守ってきた坂網猟師たちの姿と猟の技、片野鴨池の自然環境を紐解きながら、そのヒミツに迫る。



坂網猟(さかあみりょう)

300年以上の歴史を持ち片野鴨池の周囲で行われる伝統猟。夕暮れ時に、池から飛び立つ野生のカモをY字型の猟具・坂網を投げ上げて捕まえます。ラムサール条約登録湿地で行われる猟は他に例が無く、世界的にも大変珍しい狩猟です。

片野鴨池(かたのかもいけ)

石川県加賀市の中心部から約3キロ離れた海沿いの丘陵地にある全長500メートルほどの池。小さいながらも西日本最大級のガンカモの渡り鳥の越冬地になっています。1993年、国際的なラムサール条約の登録湿地に登録されました。



長編記録映画「鳥の道を越えて」(2014年/93分)にも一部登場した坂網猟。公開して以来、加賀市片野鴨池坂網猟保存会とのご縁で、3年かけて映像作品を制作する機会に恵まれました。「鳥の道を越えて」のスタッフが再集結し、有識者による指導のもとでまとめたのが本作品。人は自然とどう向き合えば良いのか、その根源的なテーマを坂網猟に求めます。

猟師が守る小さな池には、未来を考えるヒントがある



JR東京駅八重洲中央口から徒歩4分(八重洲地下街24番出口右階段すぐ)
京橋駅7出口から徒歩3分/日本橋駅B3出口から4分